



児童生徒のラーケーション活用状況について

1 県内の活用状況(集計期間:2024.4.1～2025.1.31)

※県立特別支援学校は2024.9.2～2025.1.31

小
中
等

	小学校	中学校等	義務教育学校	計(件)
1月末	31,997	8,461	1,887	42,345

高
校
等

	高等学校	附属中学校	中等教育学校	計(件)
1月末	11,713	327	587	12,627

特
支

	幼稚部	小学部	中学部	高等部	計(件)
1月末	1	169	79	101	350

2 活用事例

小
中
等

- ・漁業体験・研究所巡り・水族館のバックヤード見学
- ・母の出産の立ち合い・親の職場見学(病院、工場)
- ・ホノルルマラソンへの参加
- ・アメリカやニュージーランドへの語学研修、ホームステイ体験

高
校
等

- ・志望大学の研究室訪問・ボランティア活動への参加
- ・小学校での教員体験・学会への参加
- ・探究活動に係る市役所や企業等での取材
- ・ Guamでの民族舞踊イベントへの出演

特
支

- ・公共交通機関の利用練習・福祉施設等見学
- ・兄弟姉妹が出場する大会等の応援
- ・世界遺産見学・市民講座への参加
- ・美術館での芸術鑑賞

3 児童生徒・保護者の声

【児童生徒】

- ・平日にしか開催されないイベントに参加し、貴重な経験ができてよかった。
- ・久々に家族で揃ってじっくりと将来の話をする事ができた。
- ・学校では体験できないことが家族と体験できてよかった。
- ・親が働いている様子を実際に見ることができた。
- ・制度について、もう少し知りたい。

【保護者】

- ・家族で日程を合わせて体験活動ができる有意義な制度。
- ・子供と研鑽の時間を共有しようと思う意識改革につながった。
- ・子供とじっくりと向き合う時間ができた。
- ・土日の混雑時ではなく、平日に子供が様々な体験をすることができ、ありがたかった。
- ・ラーケーションとして取得できるかの判断が難しい。